

こんにちは 脇本です!

Something News

脇本商事サムシング・ニュース

No.222
2019年12月号

バックナンバーは会社案内HPに掲載されています

■ 会社案内: <http://www.kk-wakimoto.com> ■ ラベルくん: <http://www.label-kun.com>

脇本商事の繊維のネタ帳 Vol.112

縫製副資材のお話～洗濯表示編⑫

みなさんこんにちは!

前回に引き続き洗濯表示についてお話をすすめてます。洗濯表示については12回目のお話となりました。衣類についている「取扱い表示」の見方のコツについて引き続きお話をすすめます。

洗濯表示には、記号をつかって洗濯のしかたを説明していますが、「記号は省略されることがある」ことをご存じでしょうか。

例えば、タンブル乾燥ができる記号がある場合は、自然乾燥記号が省略されている場合がありますが、省略されていても自然乾燥はできます。

“禁止の記号がなければ省略された記号の処理を行うことができる”と解釈できます。取扱い表示を見るかた、製品を作っているかたも改めて確認しておくといいと思います。

毛皮や皮革製品は、特殊な洗いや仕上げが必要のため、皮革製品を取り扱っているクリーニング店などに依頼するといいでしょ。

衣類の「取扱い表示」のほかに、製品には紙のカードなどのタグがついているケースも多いので、取扱い方をよく読んで判断してください。

消費者庁の家庭用品品質表示法の WEB サイトにも情報が掲載されていますので「取扱い表示」に迷われたら参考にしてみてください。



タンブル乾燥可能 ※上限60℃



タンブル乾燥可能 ※上限80℃



自然乾燥 平干し



濡れたまま 日陰で吊り干し



facebook情報宅急便!

www.facebook.com/kkwakimoto

こんにちは!ボビンです~♪

画像にあるのはお分かりでしょうか~ 樹脂でできたホックのボタンがテープ状の上に直接成形しているテープです。

ホックを付けたいときには、普通はホックのオスとメスをそれぞれ縫い付ける必要があるんですけど、これはテープを縫製するだけなのでカンタンに取り付けることができます~♪

直接成形なので、ホックが外れるという心配ありません。

同じような仕様のものは、いくつかのメーカーで規格品があり、テープの幅、ホックのピッチ、ホックの大きさを選んで使えます。ベビー用品や、キッズ服、スポーツウェア、インナーやアウターにと幅広く使われています。

また、縫製がカンタンなので、アパレル以外でも寝具向けなど用途はいろいろ考えられると思いますよ~

画像にあるのは大きくみえますが、小さく細かいテープ状のものもあり、これはキャミソールやインナーの肩紐のズレ防止や肩パッドに使用されていますので知っているかたも多いのではないのでしょうか~。

マジックテープ®のように脱着時のあのバリバリした音が無いのもいいと思う点ですね。

付けたり外したりといった機能をもつ副資材もいろいろとありますね~♪



NET PICKUP! 博報堂生活総合研究所による生活者の意識調査
定点調査で回答の変化を観測しています

生活定点より <https://seikatsusoken.jp/teiten/answer/1305.html>

Q 今の日本はどんな方向に向かっていると思いますか?

最新(2018年)調査結果

現状のまま特に変化はない **56.0%**

初回(1996年)より1.1↓ 前回(2016年)より1.9↑

前回2016年調査と比較してポイントはほとんど変化がなかったようです。気になるのは「悪い方向に向かっている」という回答が37%あったこと。一方で、「良い方向に向かっている」の回答が7%でした。ぜひそうなりたいものです。あなたはどう思いますか~。

Gadget Star ジェットの星

便利な商品をインターネットから探してご紹介するコーナーです♪

ガジェット通信より <https://getnews.jp/archives/2288836>

新しい形! 肩にのせて使うウェアラブルスピーカーが画期的

「ウェアラブルスピーカー400-SP085」は、肩にのせて使うタイプスピーカー。何か作業しながらでも使えやすく、イヤホンにない開放感を味わえるという画期的なスピーカーだ。

のせるだけのスピーカー!?

乗せるだけの簡単装着で、小音量でもしっかり音楽が楽しめるウェアラブルネックスピーカー「ウェアラブルスピーカー400-SP085」。耳に直接触れないため、長時間音楽を聴いても耳への負担がかららない点が大きな特徴。ヘッドホンと違い髪型を乱す心配も不要。音が耳へとダイレクトに届くように計算されており、まるで音に包み込まれるような感覚を味わうことができる。

音楽の楽しみ方が広がる

離れると聴こえにくくなる据え置きスピーカーと違い、常にスピーカーのそばで音楽を楽しめる点が大きなメリット。また、完全に音を遮断してしまうイヤホンやヘッドホンと違い、周りの音を遮断しないうえ、周囲の呼びかけや環境音にもすぐ気づくことができる。周りの音が聴こえるため、家事や作業をしながらでも音楽を楽しむことが可能。例えばサイクリング中でも安全に音楽を聴くことができるなど、様々な場面で活躍してくれるだろう。中央部はシリコン素材でやわらかく、首にやさしくフィット。軽量ボディのデザインで疲れを感じにくく、長時間の使用も苦にならない。世代やシチュエーションを問わず多くの場面で役立つようなスピーカーなので、ギフトとしても喜ばれるのではないだろうか。

※文章: ガジェット通信より抜粋

ラベルくん label-kun.com

「政府広報オンライン」のご紹介

「政府広報オンライン」の「暮らしに役立つ情報」で改めて新しくなった洗濯表示についてまとめています。ぜひ参考にしてみてください

洗濯表示が新しくなって2年。あなたは正しく洗濯していますか?

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201812/2.html>

「脱プラ」の行方

編集後記

昨日は、廃プラスチック投棄が原因の海洋汚染問題が深刻化し、国際的な環境規制の動きが広がってきています。

2018年7月、米スターバックスがプラスチック製の使い捨てストローを20年までに世界の全店舗で廃止すると宣言したニュースはインパクトを与えましたね。その後、米マクドナルドやレゴランドを運営する企業もプラスチック製から他の素材に切り替える発表を行いました。

使い捨てプラスチック禁止の動きがG20でも相次いでおり、たとえ英国ではストローやマドラーなどの販売を禁止する意向、イタリアでは19年から生分解性ではない綿棒を禁止。さらにフランスでは20年1月以降、容器の使用を原則禁止、カナダでは早ければ21年までに使用禁止といったように発信されています。

プラスチック代替素材の開発を巡っては業界の激しい競争になっていますね。紙製の素材や、容器コーティングの技術、生分解性の素材開発など各方面で環境に配慮した容器類の開発が急ピッチで進んでいるように感じます。

出版物や印刷物の減少で需要が右肩下がりになった紙業界は新たな素材としてにわかにかに脚光を浴びているとのこと。課税はコスト面ともいわれるのですが、将来的な環境面を考えるとプラスチックに替えることはないでしょう。

脱プラスチックの動きに今後も注目です。

【編集人/脇本康裕】